	山工茶户农	市田学校	開講年度		2021年度)	授業科目	創造工学実験	
	山上耒同寺 礎情報	事門学校_		3和03年度 (2	∠∪∠⊥艹/支 <i>)</i>	ix来付出	后],但工士大成	
		20244			NDEZA	市田 / 2	liko	
科目番号 授業形態		20241	7.字壮		科目区分 専門 / 必修 単位の種別と単位数 履修単位:			
開設学科		- 1.6.1	実験・実習・実技電気工学科			4 格形单位	. 0	
開設期	†	通年	1	対象学年 週時間数	6			
 教科書/勃	数**	- 地十			一一一一			
担当教員		岡木 征显	 電気工学科 全教員					
到達目		四/平 1正/6/	电对工于行 主教员					
2. 実験自 3. 以課 5. 放課 5. プ 7.	の課題テー 目のアイデア 見を簡潔にま 見解決の手法 見をまとめ、 ラジェクトを ファイトを!	マの背景・目的 や工夫した点を とめ発表できる や計画をまとる 成果物や実験	ンパルス高電圧の発生 対を説明できる。 対発表できる。 る。 あることができる。 は果について考察がで		ెవె.			
ルーノ	リック		TITLE 45 + > 701 + 1 - 2 1		1#3/# 45 + 5 7(1) ± 1 - 3 (1)		+ 70.4.1 6.0.4	
	=		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標 項目1	Ë				高電圧系実験の実態きる。	例答を埋解で	高電圧系実験の実験内容を理解できない。	
到達目標 項目2,3,			目的に合った (独自 した点がわかりやす ができる。	自性や創意工夫 すい) プレゼン	さる。 時間やルールなどの規定を守り、 プレゼンができる。		プレゼンの時間やルールなどの規 定が守られていない。または、プ レゼンの準備ができていない。	
到達目標項目5,6			レポート作成の書式 に合った(独自性や 点がわかりやすい) 出される。	創意工夫した	レポート作成の書式ートが提出できる。	だに従ったレポ	書式などが守られていない。または提出されない。	
到達目標 項目7	<u></u>		公開に耐えうる 独創性の高い作品が完成する。 パスまでに壊れ		公開に耐えうる(ス パスまでに壊れない する。	ナープンキャン い)作品が完成	作品が未完成である。	
 学科の	到達目標耳	頁目との関係	 系					
			<u></u> 科学習目標 4					
			プログラム B1専門(電	氢電子工学)				
教育方	法等							
概要		に取り組む 通して, 言 結果をまと	うとともに、これまで 画性、協調性、コミ める過程で自分の考	に習得した専門 ユニケーション	いて,基礎知識,等F 決型学習(PBL:Pro 知識を実践的に活かす 能力などを養う。さら し,検討できる力をF	す体験をする。 らに、報告書作	ともに,実験を通して課題を解決す .earning)により工学的な課題の解決 また,チームプロジェクト型学習を .成やプレゼンテーションでは,実験	
授業の進	差め方・方法	実験1, , 「プレt 【事前事後	ヹンテーション」を行 後学習など】 ゝやプレゼンテーショ	う。なお,途中 こ答料は、提出	に進捗の報告を求める	ることがある。 L	ジュールの作成」, 「製作・評価」 加用的技能, WII 態度・志向性(人間力	
・独自の ・グルー ・レポー 注意点 【評価方 プレゼン 成果物・		アイデアを大事に発表などを行うこと。 プとしての統率力・協調性も,レポート点として評価される。 トの提出期限を厳守すること。 トは内容不十分で返却されることがある。この時,一週間以内に再提出すること。 法・評価基準】成績の評価基準として60点以上を合格とする。 テーション,レポート,成果物を以下の割合で評価する。 プレゼンテーション(50%),レポート(50%)						
		・レポート 【評価方法	、は内容不十分で返却 も、評価基準】成績の	調性も, レポー ること。 されることがあ 評価基準として	。 ト点として評価される る。この時, 一週間 6.0点以上を合格とで	る。 以内に再提出す		
テスト		・レポート 【評価方法 プレゼンラ 成果物・フ	、は内容不十分で返却 も、評価基準】成績の	調性も, レポー ること。 されることがあ 評価基準として	。 ト点として評価される る。この時, 一週間 6.0点以上を合格とで	る。 以内に再提出す		
テスト 授業の		・レポート 【評価方法 プレゼンラ 成果物・フ	、は内容不十分で返却 も、評価基準】成績の	調性も, レポー ること。 されることがあ 評価基準として	。 ト点として評価される る。この時, 一週間 6.0点以上を合格とで	る。 以内に再提出す		
テスト 授業の	属性・履何	・レポート 【評価方法 プレゼンラ 成果物・フ	へは内容不十分で返却 は・評価基準】成績の ニーション、レポート プレゼンテーション(調性も, レポー ること。 されることがあ 評価基準として	。 ト点として評価される。この時,一週間以 60点以上を合格とる の割合で評価する。 ート (50%)	る。 以内に再提出す	ること。	
テスト 授業の 』 アク:	属性・履作 ティブラーニ	・レポート 【評価方法 プレゼンラ 成果物・フ	へは内容不十分で返却 は・評価基準】成績の ニーション、レポート プレゼンテーション(調性も, レポー ること。 されることがあ 評価基準として	。 ト点として評価される。この時,一週間以 60点以上を合格とる の割合で評価する。 ート (50%)	る。 以内に再提出す	ること。	
テスト 受業の 』 アク:	属性・履作 ティブラーニ	・レボート 【評価方法 プレゼンラ 成果物・フ 多上の区分	へは内容不十分で返却 は・評価基準】成績の ニーション、レポート プレゼンテーション(調性も, レポー ること。 されることがあ 評価基準として	。 ト点として評価される。この時,一週間以 60点以上を合格との割合で評価する。 一ト(50%)	る。 以内に再提出す	ること。 ま務経験のある教員による授業 	
テスト 受業の 』アク:	属性・履作 ティブラーニ	・レボート 【評価方法 プレゼンラ 成果物・フ	は内容不十分で返却 は・評価基準】成績の デーション、レポート デレゼンテーション(□ ICT 利用	調性も, レポー ること。 されることがあ 評価基準として	。 ト点として評価される。この時,一週間以 60点以上を合格とでの割合で評価する。 -ト(50%)	る。 以内に再提出す する。 ごとの到達目相	ること。 ま務経験のある教員による授業 	
テスト 受業の 』アク:	属性・履作 ティブラーニ	・レボート 「評価方法 プレセンラ 成果物・フ 多上の区分 ニング	へは内容不十分で返却 は・評価基準】成績の デーション、レポート デレゼンテーション(□ ICT 利用	調性も, レポー ること。 されることがあ 評価基準として	。 ト点として評価される。この時,一週間は 60点以上を合格とでの割合で評価する。 一ト(50%)	る。 以内に再提出す する。 ごとの到達目相 験の目的,進	ること。	
テスト 受業の 』アク:	属性・履作 ティブラーニ	・レボート 「シボート」 「シボーク」 「シーク 「シーク」 「シーク」 「シーク」 「シーク」 「シーク」 「シーク」 「シーク」 「シーク」 「シーク」 「シーク」 「シーク 「シーク」 「シーク」 「シーク」 「シーク」 「シーク」 「シーク」 「シーク」 「シーク」 「シーク 「シーク」 「シーク 「シーク 「シーク 「シーク 「シーク 「シーク 「シーク 「シー 「シーク 「シーク	へは内容不十分で返却 は・評価基準】成績の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	調性も, レポー ること。 されることがあ 評価基準として	。 ト点として評価される。この時, 一週間は 60点以上を合格との割合で評価する。 ート(50%)	る。 以内に再提出す する。 ごとの到達目様 験の目的,進& 電圧現象につい	ること。 実務経験のある教員による授業 方について理解する 	
テスト 受業の 』アク:	属性・履作 ティブラーニ	・レボート 「シャインランデンス 「成果物・フェング 多上の区分 ニング 週 1週 2週 3 3週 第	 は内容不十分で返却 も・評価基準】成績の ミーション、レポート がレゼンテーション(ICT 利用 受業内容 長験説明 実験1.高電圧 I 	調性も, レポー ること らこと から あっこと。 とが あっこと があ でいる 準 と し し 下 成果 物 を レ ルポ 5 0 %) , レポ	。 ト点として評価される。この時, 一週間は 60点以上を合格との割合で評価する。 ート(50%) □ 遠隔授業対応 週 実 高	る。 以内に再提出す する。 ごとの到達目標 験の目的,進 電圧現象につい ンパルス高電匠	ること。 □ 実務経験のある教員による授 □ 方について理解する いて説明できる	
テスト 受業の 』 アク:	属性・履作 ティブラーニ	・レボート 「シード」 「京果物・シーク 多上の区分 ニング 週 1週 第 2週 3週 第 4週 第	は内容不十分で返却 は・評価基準】成績の ニーション、レポート プレゼンテーション(□ ICT 利用 □ ICT 利用 受業内容 実験説明 実験記明 実験1.高電圧 I 実験2.高電圧 II	調性も、レポー ること。ことがします。 される基準としいます。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	。ト点として評価される。この時,一週間以 60点以上を合格とでの割合で評価する。 一ト(50%) □ 遠隔授業対応 週 実 高イ 課	る。 以内に再提出す する。 ごとの到達目標 験の目的,進 電圧現象につい ンパルス高電匠	□ 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 ご方について理解する いて説明できる Eの発生回路について説明できる 理的な思考方法を理解する	
テスト 授業の ② アクラ 受業計	属性・履作 ティブラーニ	・レボート ・レボート ・フボート ・フボート ・フレボート ・フレボート ・フルボート ・フル	 は内容不十分で返却を・評価基準】成績の ニーション、レポート プレゼンテーション(ICT 利用 受業内容 E験説明 E験1.高電圧 I E験2.高電圧 II 果題配属決定、プロシ 	調性も、レポー ること。ことがします。 される基準としい下。 「の%」、レポー 「の%」、レポー 「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」 「ないでは、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、」では、これでは、「ないでは、」では、これでは、「ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	。 ト点として評価される。 る。この時,一週間は 60点以上を合格とでの割合で評価する。 -ト(50%) □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 環高 イ課	る。 以内に再提出す ごとの到達目相 験の目的,進8 電圧現象につい ンパルス高電圧 題解決への論理 程等の計画がで	□ 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 ご方について理解する いて説明できる Eの発生回路について説明できる 理的な思考方法を理解する	
テスト 授業の ② アクラ 受業計	属性・履作 ティブラーニ	・レボート ・レボート ・フボート ・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン	は内容不十分で返却 は・評価基準】成績の ボーション、レポート プレゼンテーション(ICT 利用 受業内容 実験説明 実験1.高電圧 I 実験2.高電圧 I 実験2.高電圧 I 実題配属決定,プロジ デーマの決定,スケジ	調性も、レポー ること。ことがします。 される基準としい下。 「の%」、レポー 「の%」、レポー 「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」 「ないでは、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、」では、これでは、「ないでは、」では、これでは、「ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	。 ト点として評価される。 る。この時, 一週間は 60点以上を合格とでの割合で評価する。 ート(50%) □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ よ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	る。 以内に再提出す ごとの到達目植 験の目的,進 電圧現象につい ンパルス高配匠 題解決への論理 程等の計画がで ステムの設計(□ 実務経験のある教員による授 □ 実務経験のある教員による授 ラ方について理解する いて説明できる この発生回路について説明できる 理的な思考方法を理解する ごきる	
テスト 授業の ② アク: 授業計	属性・履作 ティブラーニ	・レボート ・レボート ・レボート ・レボート ・ファイ ・	は内容不十分で返却 は・評価基準】成績の ボーション、レポート プレゼンテーション(ICT 利用 受業内容 実験説明 実験1.高電圧 I 実験2.高電圧 I 実験2.高電圧 I 実題配属決定,プロジ デーマの決定,スケジ システム設計 1	調性も、レポー ること。 こことが あること。 ことが あま準として でまり の い 、 レポ いっこ で ない いっぱ から で ない	。 ト点として評価される。 る。この時, 一週間は 60点以上を格との の割合で評価する。 一ト(50%) □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遺裏 こ、	る。 以内に再提出す がる。 ごとの到達目標 験の目的,進め 電圧現象につい ンパルスの論理 程等の計画がで ステムの設計に 成要素の設計に	□ 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 ○方について理解する いて説明できる Eの発生回路について説明できる 理的な思考方法を理解する ごきる こ取り組むことができる	
テスト 授業の ② アク: 授業計	属性・履作 ティブラーニ	・ レボート	は内容不十分で返却 は、中容不十分で返却 は、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	調性も、レポースでは、 レポースでは、 しまいます。 とがらまままない はまり	。 ト点として評価される。 る。この時, 一週間は 60点以上をする。 ート(50%) □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 場に □ 場に □ 場に □ 場に □ 場に □ 場に □ 場に □ 場に	る。 以内に再提出す がる。 ごとの到達目標 験の目的,進め 電圧現象につい ンパルスの論理 程等の計画がで ステムの設計に 成要素の設計に 切な手法でプレ	でること。 □ 実務経験のある教員による授 □ 実務経験のある教員による授 □ 方について理解する いて説明できる この発生回路について説明できる 理的な思考方法を理解する ごきる こ取り組むことができる こ取り組むことができる	
テスト 授業の アクラー 授業計	属性・履作 ティブラーニ 画 1stQ	・	は内容不十分で返却 は、内容不十分で返却 は、・・ション、(デレゼンテーション (調性も、レポースを しまれることが しまり しょう できない かっぱい できない かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱ	。ト点として評価される。この時,一週間は60点以上をある。 60点以上をある。 一ト(50%) □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 環高 □ は 異面 は 異	る。 以内に再提出す がる。 ごとの到達目標 験の目的,進め 電圧現象につい ンパルスの論理 程等の計画がで ステムの設計に 成要素の設計に 切な手法でプレ 成要素の製作	でること。 □ 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 □ 方について理解する □ で説明できる □ の発生回路について説明できる ■ 的な思考方法を理解する □ きる □ 取り組むことができる □ 取り組むことができる □ なり組むことができる □ ないにきる	
テスト 授業の	属性・履作 ティブラーニ	・	は内容不十分で返却の は・評価基準】 成績の デーション、レポート デレゼンテーション(ICT 利用 受業内容 実験説明 実験1.高電圧 I 実験2.高電圧 I 果題配属決定, プロシ デーマの設計 1 システム設計 2 中間プレゼンテーショ システム製作と調整 1	調性も、レポースを しまれる ことが しまり でいる でいる という でいる	。ト点として評価される。この時,一週間は60点以上をある。この時,一週間は60点以下ではです。 一下(50%) □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔機業対応 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	る。 以内に再提出す が表の到達目相 験電圧現象につい との到達目相 験電圧現象につい との別達は でした。 をでした。 をでした。 ないでででした。 がでいた。 ないでででした。 はいないでででした。 はいないでででした。 はいないでででした。 はいないできた。 はいないできた。 はいないできた。 はいないできた。 はいないできた。 はいないできた。 はいないできた。 はいないできた。 はいないできた。 はいないではいないでは、 はいないでは、 はいないでは、 はいないできた。 はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	□ 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 □ 方について理解する □ て説明できる □ の発生回路について説明できる ■ 的な思考方法を理解する □ きる □ 取り組むことができる □ 取り組むことができる □ 取り組むことができる □ 取り組むことができる □ 取り組むことができる □ 取り組むことができる	

		13週	システムの最終完成, プレゼンテーションの準備	システムの製作, 評価に取り組むことができる		
		14週	プレゼンテーション	適切な手法でプレゼンテーションができる		
		15週	レポートの作成・提出	レポートの記載方法に沿ってレポートを作成し,成果物についての考察ができる		
		16週				
		1週	実験説明	各実験の内容を理解できる		
		2週	半導体デバイスに関するテーマ	半導体デバイスに関するテーマで,実験計画,実験の 実施およびデータの整理ができる		
		3週	情報ネットワーク・ディジタル信号処理に関する テーマ	情報ネットワーク・ディジタル信号処理に関するテーマで,実験計画,実験の実施およびデータの整理ができる		
	3.40	4週	電気材料に関するテーマ	電気材料に関するテーマで,実験計画,実験の実施およびデータの整理ができる		
	3rdQ	5週	パワーエレクトロニクスに関するテーマ	パワーエレクトロニクスに関するテーマで,実験計画 ,実験の実施およびデータの整理ができる		
		6週	複雑系シミュレーションに関するテーマ	複雑系シミュレーションに関するテーマで,実験計画 ,実験の実施およびデータの整理ができる		
		7週	制御工学に関するテーマ	制御工学に関するテーマで,実験計画,実験の実施お よびデータの整理ができる		
後期		8週	通信工学・基礎電波工学に関するテーマ	通信工学・基礎電波工学に関するテーマで,実験計画 ,実験の実施およびデータの整理ができる。		
		9週	プラズマ理工学に関するテーマ	プラズマ理工学に関するテーマで,実験計画,実験の実施およびデータの整理ができる		
		10週	高電圧工学に関するテーマ	高電圧工学に関するテーマで,実験計画,実験の実施 およびデータの整理ができる		
		11週	電気機器に関するテーマ	電気機器に関するテーマで,実験計画,実験の実施お よびデータの整理ができる		
	4thQ	12週	実験のまとめ	これまで行った実験について説明できる		
		13週	プレゼンテーション	実験の目的,方法,実験データについて,プレゼンテーションで適切に表現できる		
		14週	レポート作成・提出	実験の目的,方法,実験データおよび考察について,適切にレポートにまとめられる		
		15週	後期復習			
		16週				
エニルコマカリナットルの学羽内家を到達日博						

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容 学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
	工学基礎	工学実験技術(各種測定 方法処理法) 多方法、理法)	工学実験技 術(各種) (方) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	物理、化学、情報、工学における基礎的な原理や現象を明らかに するための実験手法、実験手順について説明できる。	3	
				実験装置や測定器の操作、及び実験器具・試薬・材料の正しい取 扱を身に付け、安全に実験できる。	3	
				実験データの分析、誤差解析、有効析数の評価、整理の仕方、考察の論理性に配慮して実践できる。	3	
				実験テーマの目的に沿って実験・測定結果の妥当性など実験データについて論理的な考察ができる。	3	
基礎的能力				タについて	3	
				実験データを適切なグラフや図、表など用いて表現できる。	3	
				実験の考察などに必要な文献、参考資料などを収集できる。	3	
				実験・実習を安全性や禁止事項など配慮して実践できる。	3	
				個人・複数名での実験・実習であっても役割を意識して主体的に取り組むことができる。	3	
				共同実験における基本的ルールを把握し、実践できる。	3	
				レポートを期限内に提出できるように計画を立て、それを実践できる。	3	
	汎用的技能	汎用的技能		日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	2	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相 づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。	2	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	2	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	2	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	2	
分野横断的 能力				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に 収集することができる。	2	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	2	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要が あることを知っている。	2	
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	2	
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	2	

	1			1				
				目的や対象者に応じて活信(プレゼンテーション	適切なツールや手法を用 ン)できる。	いて正しく情報発	2	後4
				あるべき姿と現状とのきる	差異(課題)を認識するた	めの情報収集がで	2	
				複数の情報を整理・構	 造化できる。		2	
				特性要因図、樹形図、 ために効果的な図や表	ロジックツリーなど課題 を用いることができる。	発見・現状分析の	2	
				課題の解決は直感や常ればならないことを知	ど知つ(いる。		2	
				グループワーク、ワー 合理的な思考方法とし の発想法、計画立案手	クショップ等による課題 てブレインストーミング 法など任意の方法を用い	解決への論理的・ やKJ法、PCM法等 ることができる。	2	後2
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる			2	
				適切な範囲やレベルで	刀な範囲やレベルで解決策を提案できる。		2	
				事実をもとに論理や考	や考察を展開できる。		2	
				結論への過程の論理性 る。	を言葉、文章、図表など	を用いて表現でき	2	
				周囲の状況と自身の立る。	場に照らし、必要な行動	をとることができ	3	
				自らの考えで責任を持	責任を持ってものごとに取り組むことができる。		3	
				目標の実現に向けて計	て計画ができる。		3	後3
		態度・志向 性	句態度・志向性	目標の実現に向けて自	D実現に向けて自らを律して行動できる。		3	
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。		3		
				チームで協調・共同するの意見を尊重するたる。	るために自身の感情をコ めのコミュニケーション	ントロールし、他 をとることができ	3	
	態度・志向 性(人間力)			当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。			3	
	17()(10))		'-	チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。			3	
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。			3	
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。			3	
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている			3	
				法令やルールを遵守した行動をとれる。		3		
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。			3	
				技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に 負っている責任を挙げることができる。			3	
				工学的な課題を論理的・合理的な方法で明確化できる。		2		
		習経験と創		公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点 から課題解決のために配慮すべきことを認識している。			2	
	総合的な学		学 総合的な学	要求に適合したシステム、構成要素、工程等の設計に取り組むことができる。			2	後16
	習経験と創造的思考力		創 習経験と創 け 造的思考力	課題や要求に対する設計解を提示するための一連のプロセス(課題認識・構想・設計・製作・評価など)を実践できる。			2	後6
				提案する設計解が要求を満たすものであるか評価しなければなら ないことを把握している。			2	
				経済的、環境的、社会続可能性等に配慮して	的、倫理的、健康と安全 解決策を提案できる。	、製造可能性、持	2	
価割合								
			発表	レ	ポート	合計		
合評価割合			50	50)	100		
基礎的能力			0 50		0 0 50 100			
								_
門的能力					•			